

夢に向かってチャレンジする企業を応援します。

uchicochi

うちでのこづち



LEADER'S PRESS

21世紀を拓く

株式会社童夢 代表取締役社長

林みのる

CULTURAL@SHOP

大人が癒される心の贅沢館

藤居本家

●一陽来復(いちようらいふく)
状態が悪く、困難な時期を
通りすぎてよい方向へ向かい始めること。

2007.VOL

40

自分自身に情熱と強運を持ち合わせ、ものづくりには常に豊かな感性を養っておく！

株式会社童夢 代表取締役社長

林みのる (はやしみのる)

1978年に発表したスーパースポーツカー「童夢-零」により一躍世界的に有名になり、レーシングカーやスポーツカーのスタイリング・デザインから設計をはじめ、あらゆる種類の自動車の開発やレース活動、試作車の受託開発をしている株式会社童夢。日本で唯一のレーシングカー・コンストラクターを成立させた林みのる社長に、独自のベンチャー精神を語っていただきました。

レースカーを造りたい!! 沸き上がる情熱が童夢をつくる。

日本でレーシングカーを造っているのは我が社しかありません。レーシングカー一造りなんてあまり世の中の役に立たないことでしょうか？ ビジネスという側面から見る限り、あまり魅力的とは言えません。私は自動車が好きだからレーシングカー・コンストラクターという道を歩みましたが、もしマーチャンが好きで没頭していたら、道楽息子で終わっていたし、酒好きだったら酒に溺れていたでしょうね。最初にレーシングカーの製作をしたのが10代ですから、人生設計なんて全く考えていませんでした。明日のことしか考えず、下手したら今日のことしか考えていなかった。好き放題やってきた結果が現在のカタチなので、人に何か助言するようなことはありません。強いて言うなら情熱

ですね。それも、努力して情熱を見つけたわけでもなく、私自身がたまたま情熱の塊で生まれてきて、レーシングカーを造りたいという沸き上がる情熱があり、あとは自由に転がって来たみたいなものです。最近の若者は、「何がしたい」という情熱を持たず、単に「成功したい」という人が多いですね。そうした人には私のような生き方は理解できないと思います。

今やりたいことを とにかくやり抜く。

もう一つ、私にあったのは運です。19歳の時に、初めて車の製作に挑んだことで大きな運を掴みました。その車は当方で6万円程度のお金で造ってしまいましたが、この車を造ったことで、奇様な人に出会い、200万円ほどのお金を出資してもらって次の車を製作することができました。今で言えば2000万円ぐらいの



1978年に発表したスーパースポーツカー「童夢-零」



2000年に自動車用模型風洞実験施設として滋賀県米原町に建造した50%スケールの風洞実験施設「風流舎」。2005年には京都の童夢本社と三島の童夢カーボンマジックを風流舎のある滋賀県米原市に移転。

金額になると思います。その人物は、一生に一回出会うか出会わないかというくらい特殊な人で、そんな人と出会う確率って天文学的に少ないですよ。それは全く偶然のことで、自分のアクションに対するフィードバックだと考えない方がいいと思います。その後も、資金が途切れる頃に従兄弟の会社が造ったストリートホイールが売れ、その会社が倒産しかけた頃に、売れるとは思っていなかったラジコンカーに玩具メーカーの目が留まり、ロイヤリティー契約をすることで多額のお金を得ることができました。このロイヤリティー契約も友だちの案で、私だけだったら契約金だけで終わっていたでしょうね。全てが運でここまで来たといっていると思います。だからアドバイスできるようなことはありません。たまたま情熱と強運を持ち合わせたら何とかなる。ただそれだけです。



プロフィール／1945年京都府生まれ。幼少の頃から物造りが大好きで、模型、ラジコン、オーディオ、バイクを経て、16歳からは車に没頭。19歳の時に、鈴鹿サーキットで知り合った当時の名レーサー・浮谷東次郎の依頼で「HONDA S600」を改造したレーシングカーを製作しデビューレースで優勝。その後もレーシングカー開発を続け、オリジナルのスポーツカー開発を目指して1975年に童夢を創業、現在に至る。

でも一つ言えるのは、今やるかやらないかです。例えば普通の会社なら、「事業計画」というのを立てるのですが、この仕事では事業計画をいまだに立てられません。ル・マンに最初出たときも、事業でいえば6000万円の予算でしたが、スポンサーもつかないし、全く予算どおりに進んでいかない。でも一旦スタートしたらできてしまった。今でも同じです。レーシングカー・コンストラクターを続けるには風洞が必要。続けたいなら作ろうと。今やりたいことをとにかくやり抜くことです。しかし、これも運がなければ失敗に終わることになるでしょうが。

イマジネーションを膨らませる環境で、クオリティの高い会社を目指す。

好きなことをするにはお金が要ります。レーシングカーを造り続けたい私たちは、

レーシングカーの開発技術で培ったカーボン・コンポジットの開発と製造技術を一般産業分野で展開し、その事業収益で車造りを楽しもうと考えました。これまでの私たちの事業はかなり特殊で、一般産業に生かせる部分が全くなかったのですが、カーボンファイバーだけは航空機や産業用ロボットなど、高性能、高機能を追求する産業分野での需要で、ようやく社会との接点ができたという感じです。ただ、営業部というものがなかったので完全に待ちの体制です。しかし、技術力はしっかり持ち、いつ頼まれても動ける情勢にあります。だからこそ、非常にクオリティの高い会社になっていくと私は確信しています。

童夢は普通にイメージする一般企業の在り方とは全く違います。ただ、ものづくりという視点では共通する企業も少なくないと思います。私からアドバースさせ

ていただくなら、ものづくりは想像力の世界です。人を出し抜くとか人に先んずることにエネルギーや感性が必要なのです。ですから、人と同じことをやっていたのでは同じモノしか発想できない。秀でたプレゼンテーション能力を持つためにも、発想能力はもちろんのこと、精神的にも日頃から鍛えておく必要があります。単純に言えば机上の空論でも、何もしないよりはましです。本を読むだけでも、酒飲みづきあいでもいいでしょう。童夢の社内では絵画を多く飾り、社員には絵を見るように言っています。絵は受け止める側が勝手に受け止めたらいいわけで、その答えは一つではなく、受信する感性によるのです。それは、絵画を見る人のイマジネーションで絵の大きさが広がっていくわけです。無から有を産み出す素養を日頃から作り、素晴らしい発想でプレゼンテーションしてください。

プラザ事業紹介

1

滋賀県地域結集型 共同研究事業

資源循環型の産業育成を目指して、
地域の産・学・官による共同研究を行っています。



環境調和型産業システム研究室

■事業内容

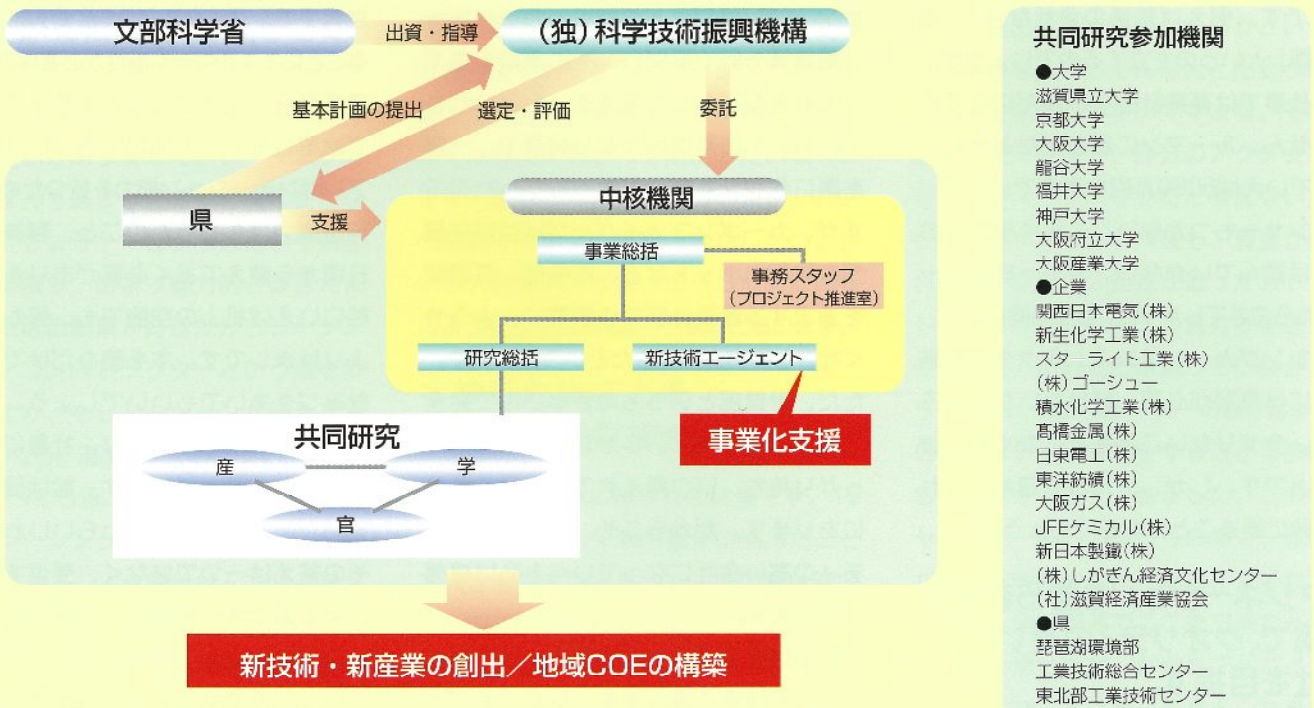
環境県であり工業県でもある滋賀で、資源循環型の産業を育成するため、滋賀県がJST(独立行政法人科学技術振興機構)の採択を受けて実施している共同研究事業です。県内の工場等から排出される廃棄物や廃熱・廃水を、新たな製品や原料に再生する「シーケンシャル・ユース」(資源循環サイクル)の実現をめざして、必要な技術やシステムの研究・開発を進めています。

- 1.研究テーマ/「環境調和型産業システム構築のための基盤技術の開発」
- 2.中核機関/ (財) 滋賀県産業支援プラザ
- 3.参加機関/ 大学 8、企業 13、県機関 3
- 4.事業期間/ 平成15年1月~19年12月
- 5.事業費/ 約24億円 (JSTが1/2負担)
- 6.中核研究施設/ 環境調和型産業システム研究室 (彦根市八坂町)

グループテーマ

- グループテーマ1
シーケンシャル・ユース・プロセス技術の開発
 - ・固体廃棄物と廃熱のシーケンシャル・ユースによる環境負荷低減技術の開発
 - ・超臨界流体加工による高分子固体のシーケンシャル・ユース
 - ・無機廃棄物のシーケンシャル・ユースによる新規水環境浄化技術の開発
- グループテーマ2
シーケンシャル・ユース化新材料の開発
 - ・有害物質捕集高分子の開発
- グループテーマ3
シーケンシャル・ユース・システム構築法とプロセス評価手法の開発
 - ・シーケンシャル・ユース・システム構築法の開発
 - ・シーケンシャル・ユースの評価手法の開発

■実施体制



研究事業の成果として生まれた、 実用化が期待される排水処理技術をご紹介します。

■研究成果ピックアップ

多孔質水酸化鉄による排水中のリン・フッ素の除去・回収

工業排水などに含まれるリン、フッ素、チッ素などの陰イオン物質を除去・回収できる多孔質水酸化鉄(FeOOH)吸着材を開発しました。この吸着材は、従来の排水処理材と比較して吸着性能が大変高く、また、製造や処理コストが低いこと、幅広い濃度の排水に対応できること、何度も再使用が可能であることなど、多くの優れた特徴を持っています。

さらに、吸着させた物質の脱着が可能な性質を活かして、これまで廃棄されてきた排水中のリンを高純度結晶状態で回収することに成功しており、資源循環という観点からも大変有効な技術です。現在、早期の実用化を目指し、パイロット装置を用いた実際の工業排水による実証テストなどを行っています。



新開発の多孔質水酸化鉄



工業排水から回収したリン酸ナトリウム
工業用原料として再利用が可能！



パイロット装置

ブレンドポリマー捕集材による排水中の金属イオンの除去・回収

従来からある高分子材料(ポリマー)2種を混合して新たに作製した「ブレンドポリマー」を、排水中の金属イオン・染料などを捕集・回収する捕集材として活用する技術を開発しました。このブレンドポリマーは原料コストが安く、また、再生利用もできるほか、繊維状、粒状、シート状など用途に合わせた形状に加工できるため、幅広い用途への

活用が予想されます。特に、金メッキ廃液など工業排水に含まれる金、銅、白金などについては、貴重な資源でありながら、効率的な回収が困難なため多くが廃棄されてきました。しかし、このブレンドポリマー捕集材を利用すれば回収・再利用が可能になることから、実用化に大きな期待が寄せられています。

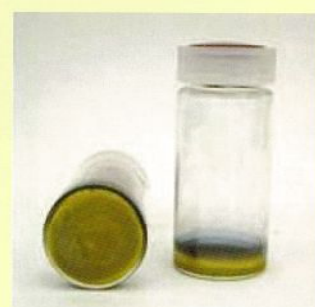


繊維状のブレンドポリマー



白金 金 銀 銅 パラジウム

各種金属イオンの捕集状況



メッキ液から回収した金

お問い合わせ

(財)滋賀県産業支援プラザ／地域結集型共同研究事業プロジェクト推進室

TEL.0749-28-0155／FAX.0749-28-0157

E-mail : main@kesshu.shigaplaza.or.jp URL : <http://kesshu.shigaplaza.or.jp>

ドイツ・バイエルン州との経済交流

プラザでは、平成15年11月、滋賀県とドイツ・バイエルン州の後援のもとに、バイエルン州の社団法人アウクスブルク・シュヴァーベン環境機能センター（KUMAS）との間で、環境分野における経済交流を推進するため「環境相互協定」を締結しました。これを踏まえ、平成16年から毎年、経済交流団の相

互派遣やドイツ関係の情報提供等の事業を行っています。バイエルン州は、環境関連産業の振興に力を入れ、環境関連企業・研究機関等が集積する一大環境クラスターを形成しています。ご関心のある方は、お気軽にお問い合わせ下さい。

■経済交流・視察団の派遣

派遣は、9月10日(日)から16日(土)にかけて実施しました。内容は、

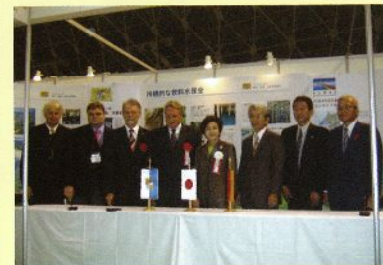
- ①KUMAS訪問
- ②UTGでのドイツ企業との商談会の実施
- ③シュバーベン商工会議所訪問
- ④バイエルン州環境局研究所(Lfu)訪問
- ⑤アウクスブルク大学訪問
- ⑥ドイツ企業への視察訪問
- ⑦在ミュンヘン日本国総領事館訪問等です。上記の商談会には次のドイツ企業11社が参加し、計12の面談を設定、実施しました。



■経済交流・視察団の受入

訪問団は、10月23日(月)から28日(土)にかけて来県しました。プラザ側の主な活動内容は次のようなものでした。

- ①ベルンハルト環境省次官のプラザ来訪対応 / 10月24日
- ②びわ湖環境ビジネスメッセへのドイツ企業等の出展対応 / 同24日~26日
- ③日独企業によるビジネス交流協定締結式の実施 / 同25日
- ④来県ドイツ企業の商談支援 / 同25~27日
- ⑤今後の事業展開に関する事務レベルの懇談 / 同26日



お問い合わせ

国際ビジネス支援・情報管理グループ

TEL : 077-511-1411 e-mail : info@shigaplaza.or.jp



JETRO 滋賀情報デスク

プラザでは、日本貿易振興機構(ジェトロ)のジェトロ滋賀情報デスクを設置しています。
県内企業の海外ビジネスを支援するために、専門の相談員を配置し次のような各種サービスを提供しています。

■主な支援内容

貿易・投資情報の提供 ジェトロのデータベースを利用し、最適な情報を提供いたします。

貿易・投資相談

- ・輸出入に関する実務や手続きについて
- ・海外の販売先・仕入先探しのお手伝い
- ・日本と海外の貿易・投資制度に関するご質問
- ・一般的な海外の経済・産業情報
- etc

貿易・投資セミナー 関心の高い国とのビジネスや貿易実務等をテーマに、セミナーや実務講座を開催しています。

■ジェトロ・メンバーズについて

ジェトロ・メンバーズは、世界57カ国、73カ所、国内36カ所にあるジェトロ事務所で収集した情報とノウハウをビジネスにお役立ていただくための会員制度です。

●年会費(1口)/73,500円(消費税込み、入会金不要)

平成18年度の主なセミナー等の開催実績

- 平成18年7月
貿易投資セミナー「ベトナムの経済政策と投資促進セミナー」
- 平成18年7月/国際物流・通関セミナー
- 平成18年8月/貿易実務基礎講座
- 平成18年9月
国際化セミナー『ドイツを中心とした環境問題とEU経済情勢』
- 平成19年1月/ベトナム情勢と小口輸入セミナー
- 平成19年2月/国際展開推進セミナー『最新の中国ビジネス事情』
- 年4回開催/国際経済勉強塾「BRICS諸国の現況」



申込先および問合せ先

ジェトロ滋賀情報デスク TEL: 077-521-6638 FAX: 077-511-1418

コミュニティビジネスのすすめ

多様な労働力やノウハウなど地域資源を活かす新しい起業スタイルとして注目されている「コミュニティビジネス」。滋賀県でも地域資源活用、まちづくり、環境、福祉など様々な分野でのコミュニティビジネスが活発に行われています。県内でも、コミュニティビジネスがしっかりと地域に根付きつつありますが、事業を継続するにあたっては、新たな課題も生まれています。(財)滋賀県産業支援プラザでは、コミュニティビジネスに関する相談を受け付けていますので、お気軽にご相談ください。

また、当産業支援プラザでは、平成14年度からコミュニティビジネスに関する各種支援をおこない、コミュニティビジネスの起業や事業展開の参考としていただくためにモデル事業発表会などを開催してまいりました。今年度は、『自分達の活動にもっと地域の人々を巻き込みたい。活動を安定して続けていくには？ビジネス手法を取り入れるにはどうすればいいの？』など、地域資源を再発見し、地域に根付いたコミュニティビジネスを実践・継続していくためにヒントとなる「しがコミュニティビジネスフォーラム」を平成19年2月2日(金)に大津で開催しました。

国際日本文化研究センター教授川勝平太氏による講演「地域資源と文化力 ～女性に期待～」に引き続き、「継続は責任、しっかり経営しようコミュニティビジネス～地域の応援隊とともに考える～」と題してパネルディスカッションが行われました。地域で活動する団体とその応援者の具体的な取り組みなどが紹介されました。

●しがコミュニティビジネスフォーラムのちらし

●コミュニティビジネスとは？

高齢者支援、子育て支援、商店街活性化など地域の抱える課題を地域住民(市民)が主体となって、ビジネス的な手法を活用し、事業継続のためにもきちんと収益をあげながら、それらの課題の解決にあたる事業活動のことをいいます。地域の元気づくりとともに、新しい働き方や雇用を生み出すものとして全国で注目されています。

●一般的な企業との違いは？

利潤の追求を最優先とする企業との違いは、地域課題やニーズを意識する事業の使命感にあり、そこに関係する人たちが喜びや楽しさを感じ、結果として地域を豊かにして社会に貢献できる組織になるという点であるといえます。



●コミュニティビジネス起業ガイドブック

業種別の創業のポイントや事業計画の立て方も盛り込んだ、コミュニティビジネスの起業に関する冊子「コミュニティビジネス起業ガイドブック」をぜひ、ご利用ください。当産業支援プラザまで直接お申し込いただくか、

<http://www.shigaplaza.or.jp/cb/>

からダウンロードすることも可能です。

コミュニティビジネスに関する相談を受け付けています。

コミュニティビジネスに興味をお持ちの方、

コミュニティビジネスって何だろう？

という方もお気軽にご相談ください。

お問合せ先

財団法人滋賀県産業支援プラザ
マーケティング支援グループ

TEL：077-511-1413

e-mail：mrkt@shigaplaza.or.jp

●詳しい内容をプラザホームページで紹介しています。

URL:<http://www.shigaplaza.or.jp/uchide/main.html>

産学連携で災害時に有効な新しい遺体保存法を事業化。滋賀医科大学のシーズを社会還元する企業を目指す。

2003年滋賀医科大学の複数のシーズを基に大学ベンチャーを設立。新しい遺体保存法「アンジェプラン」の開発に成功し、他企業と共同で事業化を推進。従来のドライアイスに代わる固定液(特許出願中)による環境配慮型の手法で、感染症防止に優れ、一般葬儀のみならず災害時の遺体の修復保存や海外搬送での有効性に期待が高まる。タンパク解析事業では、精度の高い塩基配列の分析が可能などから、全国の医療・バイオ機関から受注が伸びている。今後、抗原特異的免疫反応の制御による細胞治療事業を展開するなど、医学専門知識を活用した総合メディカルカンパニーを目指す。



アンジェプランの一式セット



「めきき・しが」Aランク企業
有限会社バイオサム
代表取締役
西尾斉さん

- 本社/〒520-2192 大津市瀬田月輪町 滋賀医科大学内
- 設立/平成15年(2003年)
- TEL・FAX:077-548-2317 FAX:077-548-2312
- 業務内容/アンジェプラン、タンパク解析事業、医学診断・鑑定事業、診断キット開発事業、細胞治療事業
- URL : <http://www.biosums.com/>

「人とペットの共生できるアメニティ空間の創造」を開発コンセプトに、ペットの「ストレス軽減用品」を提供。

1965年にパッケージ製造業として設立。大量生産では難しい細長の箱など、大手が不得意とするパッケージデザインでクライアントのニーズを得る。また、空気清浄機などに使用する脱臭フィルタをグループ会社で製造。健康空気・清潔環境作りに注目。近年ダンボールに付加価値をつける商品開発に力を入れ、ペットアメニティ事業部を設立。ダンボール使用の猫の爪研ぎ器をヒントに、京都工芸繊維大学の中島敏博教授が研究する「緑の香り」成分をベースにした「猫のストレス軽減爪とぎ器」を開発。現在、ペットの「ストレス軽減用品」を提供する新しいマーケットに挑んでいる。



「緑の香り」の基礎研究(京都工芸繊維大学・中島教授)をベースにしたペット用品(見本)



「めきき・しが」Aランク企業
株式会社靉本ダンボール
代表取締役社長
靉本勝利さん

- 本社/〒524-0103 滋賀県守山市洲本町1194
- 設立/昭和40年(1965年)
- TEL:077-585-1331 FAX:077-585-2654
- 業務内容/ダンボール製造業、ペットのストレス軽減用品の製造販売

お客様のニーズに応える商品の開発で、自社ブランドの立ち上げを目指す。

1961年の設立以来、相手先ブランドの水道用バルブを製造。4年前、市場の変化をビジネスチャンスにと、培ってきた技術力を基に自社ブランドの商品開発に着手。水道用バルブに特化せず、お客様のニーズをリサーチして商品の開発を目指している。「水道用地下式消火栓S255Air型」は平成15年に中小企業経営革新支援法の認定を受け、「消防用媒介金具兼接手」は2004年、中小企業創造法の認定を受けている。また、現在、消防の全国コンクール3位入賞した開発中の「家庭用マイクロバルブ発生ノズル」を始め、一般家庭向けの商品開発にも力を入れている。



管路にやさしい水道用地下式消火栓「S255Air型」



経営革新計画承認企業
協和工業株式会社
代表取締役社長
清水重信さん

- 本社/〒527-0125 東近江市小田町町1790番地
- 設立/昭和36年(1961年)
- TEL:0749-45-0561 FAX:0749-45-2393
- 業務内容/水道用バルブ、上下水道用消火栓等の製造販売
- URL <http://www.kyowakk.com>

業務用厨房設備から食器・道具・備品まで“食”のプロデュースを通じて食文化の進歩発展に貢献。

1965年に業務用厨房機器の設計・施工をスタート。1972年にステンレス工場を設立。ホテルや飲食店等の厨房設備の設計から施工、アフターケアまでトータルに“食”をプロデュース。夢をカタチにする調理道具・備品等を企画から製造まで一環体制で提供。“良いものをより安く”をコンセプトに新商品開発のクックリ-ハウスブランドを確立。2001年にISO9001認証を取得。最近では、食品の長期保存を可能にする高温高压調理器やIHコンロの開発、厨房機器体験ショールームのオープンなど食文化の進展に寄与する新サービスの開拓に邁進している。



業務用厨房機器の設計・施工



経営革新計画承認企業
大洋厨房株式会社
代表取締役社長
西村均さん

- 本社/〒520-0001 大津市にの浜3丁目1-39
- 設立/昭和40年(1965年)
- TEL:077-524-2857 FAX:077-524-2823
- 業務内容/厨房設備の設計・施工、板金製厨房器具類の製造・販売、食品の輸入・販売、食器・道具・備品の販売、店舗設計・施工
- URL : <http://www.taiyocook.co.jp>

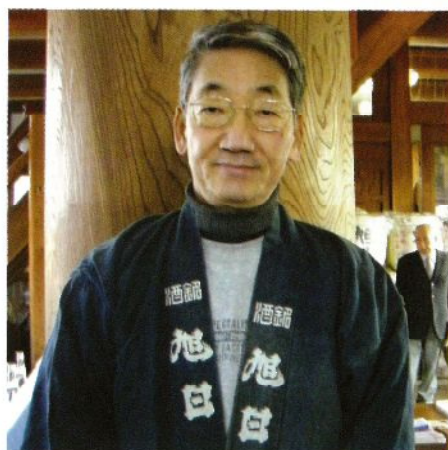
CULTURAL@SHOP

心が癒される
心の贅沢館

日常の喧騒から離れて、ゆったりした時間のなか
でいやされる贅沢な空間を提供している
お店を紹介します。

歳元

藤居本家



7代目当主

藤居鐵也さん(59歳)

●プロフィール

酒蔵見学ではお客様を案内し、酒造りだけでなく地元東近江の食、農、そして文化などさまざまな話をする、まさに日本酒の語り部。「日本酒は日本の伝統と文化を味わえるものだと思います。県外の方には、もっと、滋賀県のことを知ってもらいたいですね」。



●「けやきの大広間」では、音楽会、芸術、芸能等集いや発表などを開催しています。

心の贅沢◆観る

樹齢700年の総けやきの店舗で
お客様を迎える天保2年創業の
伝統ある造り酒屋。



●酒舟を使用した試飲即売コーナー

天保2年創業の藤居本家は、新嘗祭の御神酒を宮中に献納してきた伝統ある造り酒屋。愛知川の伏流水と地元産の酒造好適米を使い、能

登杜氏が技術の粋をつくして酒造りをしています。

通りからもひととき目立つ重厚な総けやきの建物は築約50年、ふた抱えもある樹齢700年のけやきの丸柱が立ち、スケールの大きさ、建築法のユニークさでも興味深い魅力的な建物です。店舗になっているこの建物は、当主の藤居静子さんが設計したものとか。木材を探すところから、年数を費やして建てられたと言われます。

玄関から入ると酒舟を使用した台を中心に試飲即売コーナーがあり、四季折々の花が咲く、広い庭が眺められるようになっています。酒造りをしているのは別棟の酒蔵。ドラマの撮影にも使われたという大正時代の古い建物ながら、一升ビンが一万本入るといふタンクが並び、毎年11月から翌年の3月初めまで仕込みが行われます。酒造りや日本酒への理解を深めてもらうことを目的に、酒蔵見学を受

地産地消を目指す酒造りは 総けやきの大広間のある酒蔵から 日本酒と近江の文化を発信し 人々の心をつなぐ。

心の贅沢●楽しむ

アーティストが披露し人が集う酒蔵、酒と文化の香りが漂う総けやきの店舗。



●けやきの大広間で開かれた書の展示会

総けやきのこの店の間の2階は、木のぬくもりがあり、天井も高く、開放的な雰囲気ギャラリーとして使用できる大広間になっています。20年ほど前からこの建物の雰囲気よさを味わってもらおうと、音楽会をはじめとする文化、芸術、芸能等の集いや発表の場として活用されています。「日本酒にふれてもらい、応援してくれる人々をつないでいきたいと始めました。地元の人にも文化に触れていただく機会になりますし、何より酒蔵に人が集まることがいいですね」と藤居さん。アーティストのコーディネーターはもっぱら義姉の加南子さんが担当。まずどんな作品か、どんな演奏会をされるのが、必ず加南子さんが見に行ってから依頼するのだとか。「作品や演奏はもちろんですが、人柄も良いなあと思った方に来

ていただいています」。雰囲気に合わせて作品をと、作家の方の創造する意欲をもちき立てるようです。

心の贅沢■味わう

近江の歴史と文化・自然の恵みに育まれて、手造りの伝統と味を守る。



●酒蔵見学会で酒づくりについて説明する藤居さん

昔は近隣の人々のために、酒蔵は必ずその地域にあったといえます。その地域で収穫された米を使い、水を使い、その土地にある食べ物に合わせた酒が造られました。近年、大手メーカーで大量に販売される酒に対して、小さな酒蔵の地域性のある個性的な酒が、一つのブランドになりつつあると。『日本酒は『食』と、酒造りは『農』と深く結びついています。これはその地域の『文化』ですね。地元産の酒米を使った酒造りだから、その酒蔵の『生きざま』がそこにあると思いますよ』と藤居さん。

日本酒は先人の知恵から生まれたものだからこそ、後世にも伝えなければいけない「文化」。近江の歴史と文化・自然の恵みに育まれて手造りの伝統と味を守る酒蔵の、気品と風格を備えた深い味わいを、楽しみたいものです。

け入っていますが、県外からの来店者も多く、観光シーズンにはほぼ毎日の見学者があるそうです。

●藤居本家ホームページ

<http://www.biwa.ne.jp/~tetujin/index.html>

●酒蔵見学会(要予約)

試飲コーナーで様々な味わいのお酒が楽しめます。

●イベント案内/4月28日(土)

MUSEカジュアルコンサート

ヴォーカル・ピアノ・ハーブによる春の歌からポピュラー

●第6回現代アート展/8月3日(金)~12日(日)

洋画・彫刻・陶芸・写真など、東京近郊と滋賀の作家による展示・ワークショップ・美術評論家によるトークショーなどを予定。その他、5月、マリンパコンサート(予定)

詳細はおたずね下さい。



蔵元 藤居本家

〒529-1303 愛知県愛荘町長野1769

TEL.0749-42-2080 酒蔵見学会要予約(無料)

わが社の ホームページ自慢

富永園茶舗

<http://www.tominagaen.jp/>



当店は静かな歴史のある町、大津市膳所で茶の商いをさせていただいております。「膳所」の名は、天智天皇のころ、大津京の「御膳所」(料理をするところ)に定められたことに由来します。当地は以後、膳所藩の城下となるなど、様々な歴史をたどってきました。幕末には、黒船で来航したペリー提督が膳所で生産されていた「膳所茶」を飲んで気に入ったことから輸出が決まり、「膳所茶」は日本で最初に輸出されたお茶になりました。しかし近年、市街化により茶畑がほとんど消滅するなか、当店は、このような由緒ある史実を皆さんに広く知ってもらい、味わってほしいという思いから、数年前に「膳所茶」を商品化しました。お茶の在来種を昔ながらの製法で作りました。その強い香りと素朴な味は懐かしく、ホームページで詳しくご紹介し、<富永園ウェブショップ>でお買い求めいただけます。またHPでは膳所焼、お茶菓子、健康茶等も掲載し、お茶のことがすべてお分かりいただけるような内容になっています。



中島酒店 中島真二さん

〒521-1221 滋賀県東近江市垣見町751-2
TEL.0748-42-0221 FAX.0748-42-1047
URL : <http://www.melsyuya.com>
e-mail : nakajima@melsyuya.com

直接は会えないけれど、
笑顔伝えることはできる。

東近江市で酒店を営んでおられる中島酒店さんをご紹介します。中島酒店さんでは、実店舗とインターネットの両方で販売されています。インターネットでの販売は1999年から手探りで初められたということ。全国の隠れた銘酒(ほとんどが無名なお酒)を探し出しては酒蔵へ直接出向き、味を見て、蔵元(生産者)の思いを感じ、これならご紹介できるというものだけを厳選して販売されているそうです。その思いが伝わってか、インターネットでの顧客のリピータ率が高いそうです。ただ、買って頂けるお客様はほとんどが県外の方。滋賀県内のお客様や新規のお客様に、もっと知りたいと笑っておられました。「インターネットでの販売といってもやるべきことは実際の店舗とまったくかわらない。お客様に喜んでいただくお店をつくることはネットでも実店舗でも同じ。お客様の要望にどれだけ応えられるかを常に考えている」「最近になって、お客様の顔が見えないネットの世界で、お客さまの顔が見えてきました」と笑顔で話されていました。

インターネットで簡単検索
滋賀県企業情報検索市場
スッキ

http://skki.shigaplaza.or.jp/

入会金
年会費など
無料

詳しい情報は、滋賀県企業情報検索市場 skki (すっき) をご覧ください。skkiには、この他にも多数の企業の情報が掲載されています。また、登録企業を募集しています。

編集後記

最近、新聞等にしばしば登場するNext eleven。BRIC'sに続いて経済成長が見込めるとされるエジプトなどの11か国のことですが、この中に、OECD加盟の韓国とメキシコが入っているのは少し不思議です。因みに、BRIC's並みの経済規模に成長し得るのはメキシコだけ。一人当たり所得では韓国が米国、日本に次いで高所得国になるらしく、Next twoと言ってもいいかもしれません。国際取引等のご相談は、JETRO滋賀情報デスクまで。



企業のやる気を応援します！

財団法人滋賀県産業支援プラザ

〒520-0806 滋賀県大津市打出浜2番1号 コラボしが21(2階)
TEL.077-511-1411(国際ビジネス支援・情報管理グループ)
FAX.077-511-1418 URL : <http://www.shigaplaza.or.jp>
e-mail : info@shigaplaza.or.jp